

HiP2P Client 取扱書（パソコン）

「HiP2P Client」では、パソコンでカメラを遠隔操作することができます。
HXシリーズ商品を一括に管理することも可能になります。

1. 「HiP2P Client」をダウンロードする

公式サイト www.sv3c.com/cd よりソフト「HiP2P Client」をダウンロードしてください。

Japanese

HX Wireless Series



ご注意: C以外のドライブにインストールすることをおすすめいたします。Cドライブにインストールする場合は、管理権限が必要となります。また、Mac版のHiP2P Clientを利用する時、一部の設定項目が表示されない場合があります。

2. カメラの追加方法

2.1 HiP2P Client を起動する

HiP2P Client を起動して  アイコンをクリックすると、登録のポップアップが表示されます。パスワードは空欄のまま「OK」をクリックしてください。



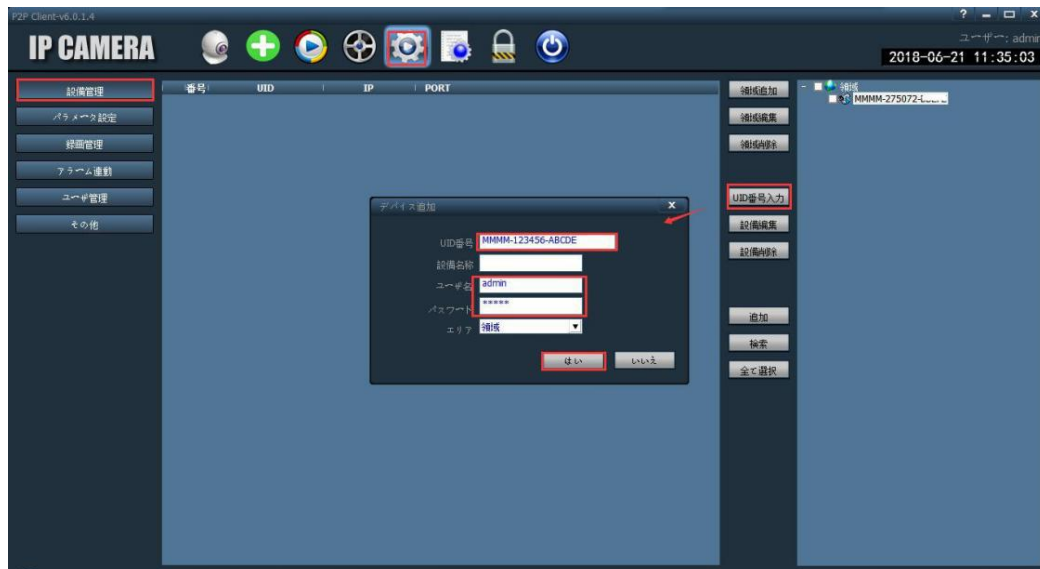
2.2 カメラを追加する

2.2.1 UID でカメラを追加する

をクリックし、左メニューの「設備管理」を選択して右側の「UID番号入力」ボタンをクリックすると、画像のようなダイアログが表示されます。カメラのUIDとパスワードを入力します（初期パスワードはadminです。パスワードを変更した場合は変更後のパスワードを入力ください）。

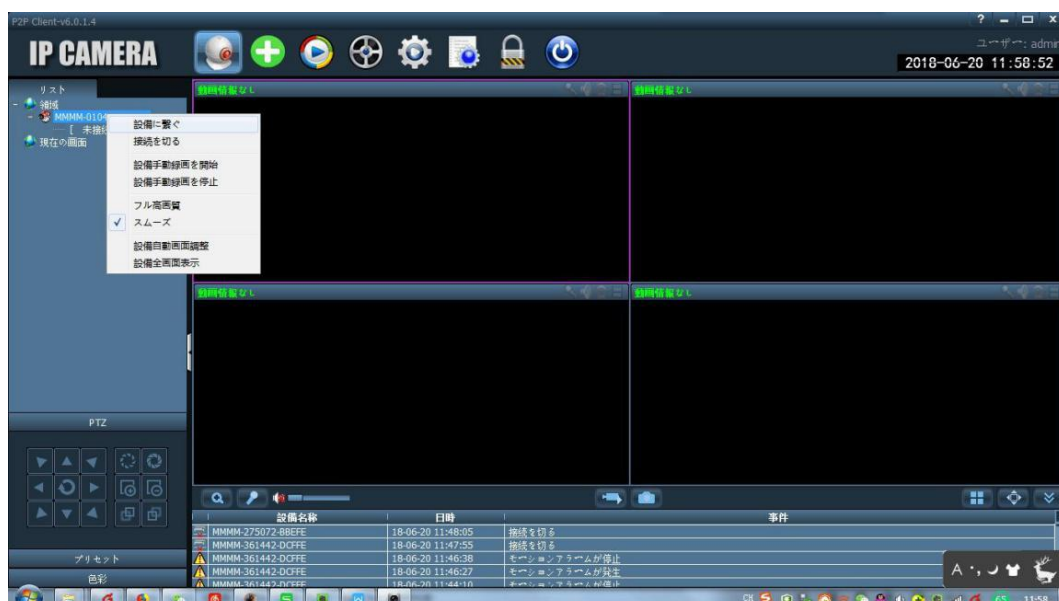
ご注意：カメラのUIDを取得するには二つの方法があります（カメラによってUIDが異なる）。

1. 検索ツールでカメラのUIDを検索すると、UIDが表示されます（検索ツールを使ったUID表について、ユーザーマニュアルをご参照ください）。
2. スマホアプリで既にカメラの登録が完了している場合は、カメラのUIDはスマホの設定画面から確認できます。



2.2.2 カメラのライブ映像を確認する

アイコンをクリックし、カメラのUIDを選択して右クリックします。「設備に繋ぐ」を選択してから数秒後に、カメラはオンラインになります。カメラのUIDをダブルクリックするとライブ映像がご覧になります。



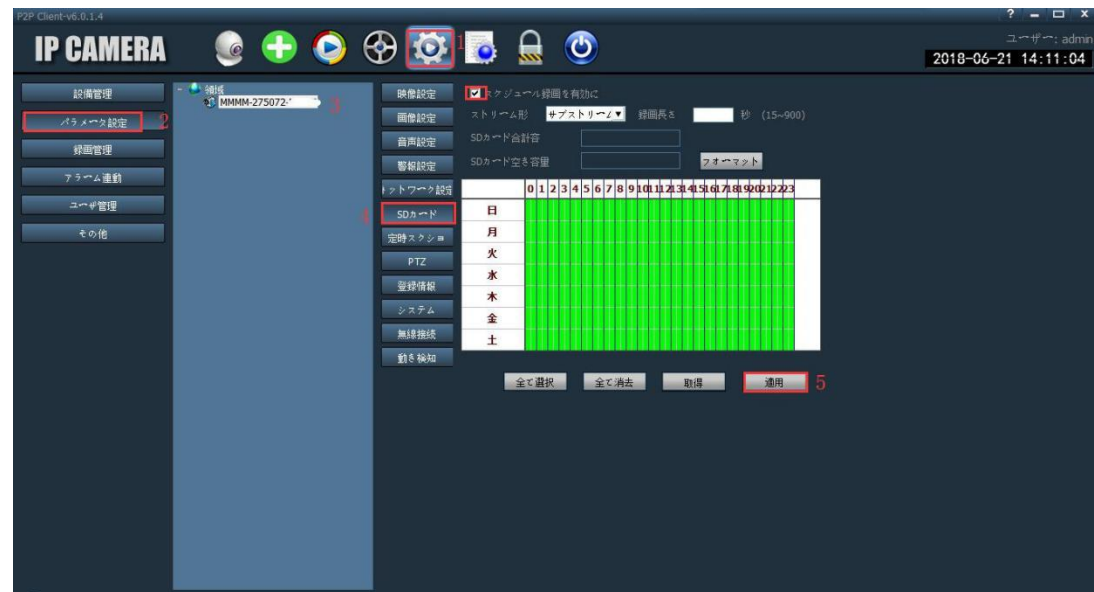
3. 録画の設定と確認方法

3.1 録画の設定方法

3.1.1 スケジュール録画の設定方法

 アイコン — パラメータ設定 — カメラUID — SDカードの順でクリックすると常時録画の設定画面が表示されます。必要に応じてチェックを入れて、“適用”をクリックすると設定が完了します。

*設定前は SD カードを挿入してフォーマットしてください。



3.1.2 動体検知録画の設定方法

 アイコン — パラメータ設定 — カメラUID — 警報設定の順でクリックすると動体検知の設定画面が表示されます。必要に応じてチェックを入れて、“適用”をクリックすると設定が完了します。

*特定の日時のみ確認したい場合は、日時設定で動体検知設定をすることができます。



3.2 録画の確認方法



アイコンをクリックし、カメラのUIDと日付を選択してから「検索」をクリックすると、SD カードに保存した録画ファイルが表示されます。録画ファイルをダブルクリックすると、録画の再生が始まります。



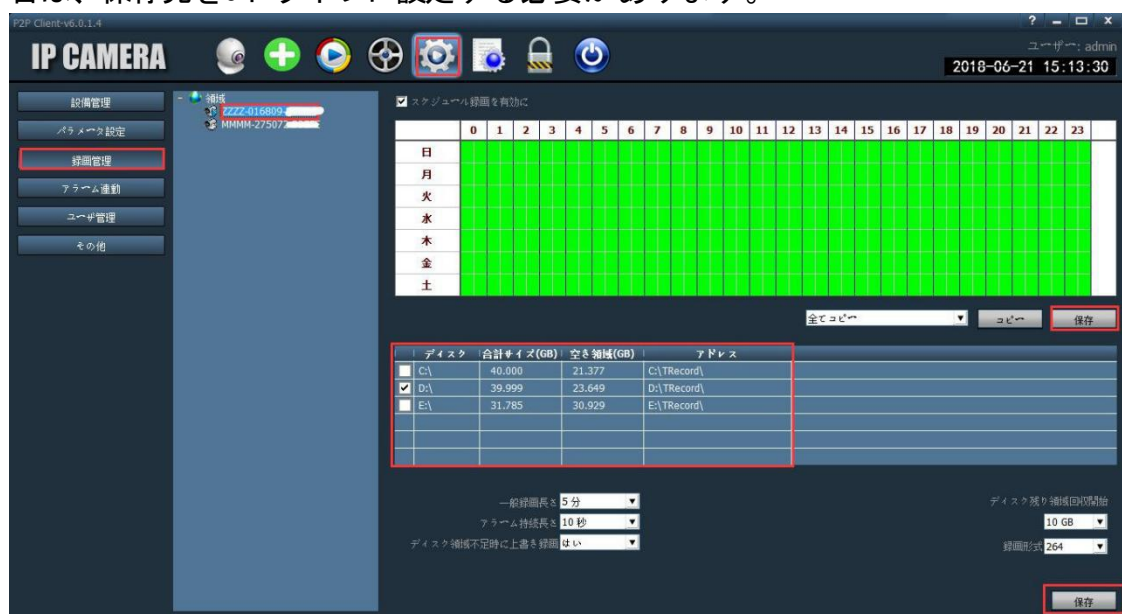
3.3 ディスク録画の設定方法（PC のディスクに保存する）

3.3.1 保存位置を設定する



アイコン — 録画管理 — カメラUID の順でクリックするとディスク録画の設定画面が表示されます。保存したいディスクにチェックを入れ、「保存」をクリックすると設定が完了します。

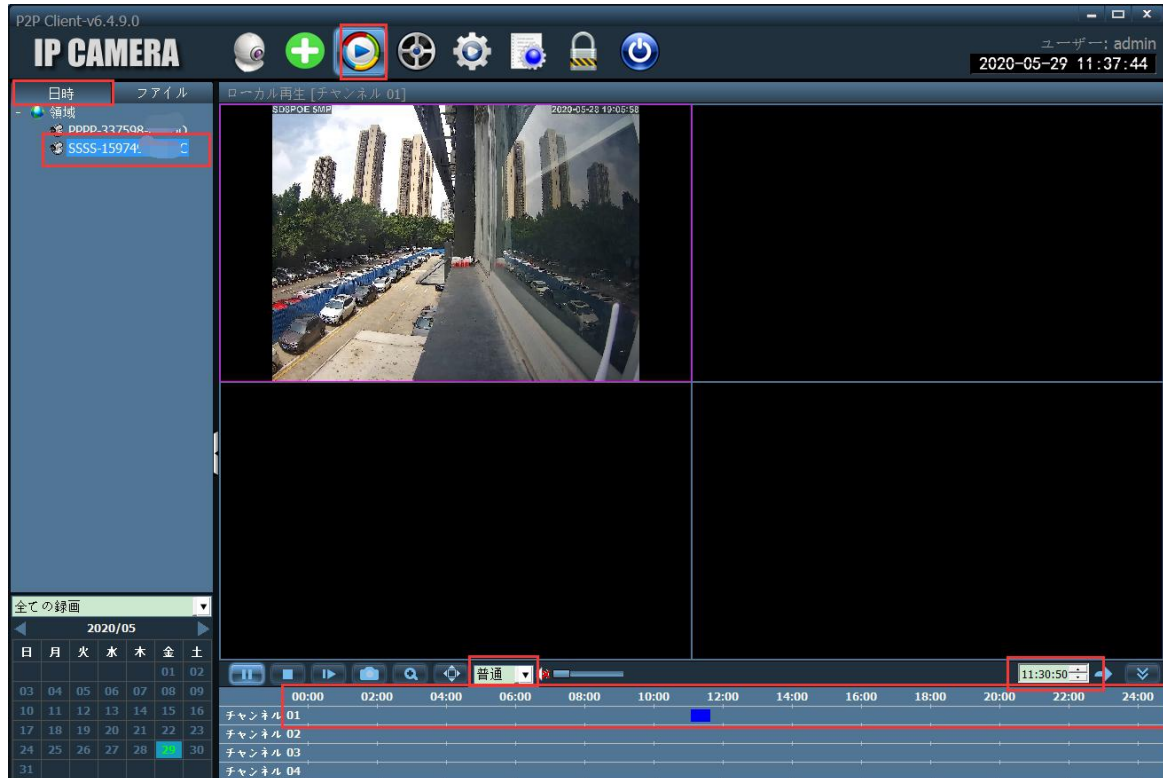
*デフォルトでは Dディスクに保存されますので、CドライブのみしかないPCの場合は、保存先をCドライブに設定する必要があります。



3.3.2 ディスク録画の確認方法



アイコンを選択し、日時、UIDと日付を選択すると、ディスクに保存された録画ファイルがタイムラインとして表示されます。タイムラインパネルで再生したい時間を選定すると、録画の再生が始まります。



ご注意: ディスク録画機能を利用する時、PCを起動状態にする必要があります。PCをシャットダウンすると、ディスク録画も停止します。

4. HiP2P Client インタフェースに関する簡単紹介

